

令和7年度コミュニティ・スクール推進研修（高・特）③実施報告

実施日：令和7（2025）年10月17日

コミュニティ・スクール（以下CS）制度の意義を理解し、運営に必要な知識と技術を習得すること、そして特別支援学校の実践から学び、CSに対する不安や疑問を少しでも解消することを目的として、コミュニティ・スクール推進研修第3回を開催し、18名の方に参加いただきました。

○ 講話・事例研究「学校運営協議会運営の実際②～特別支援学校の事例から考える運営のポイント～」

神奈川県教育委員会総務室サポートオフィス所長、文部科学省CSマイスター 横澤 孝泰 氏

講話では、横澤氏の豊富な経験をもとに、CSが学校教育目標の達成に向けた「ツール」であり、地域と学校が協働して子どもの「学び」と「育ち」を支える仕組みであることが強調されました。特に、特別支援学校におけるCSの特徴として、福祉・医療関係者、保護者、地域団体等、多様な関係者との連携が必要であること、児童生徒の多様なニーズに応じた支援が求められることを受講者は改めて理解することができたようです。



事例研究では、学校運営協議会の運営における工夫として、多様な人材の確保や委員の役割の明確化、柔軟な運営体制、地域とのつながりを実感できる仕掛け、そしてコーディネーター的存在の重要性など、実践的なヒントが多く紹介されました。特に、熟議の進め方について具体的なポイントが示されたことで、受講者は、実際に学校で行う際に、安心して意見を交わせる場づくりが大切であることに気付いたようです。

研修を通じて、特別支援学校ならではのCSの強みや可能性を再認識することができ、地域と子どもをつなぐ拠点としての学校の役割について深く考えられたようです。また、今後の学校運営協議会の充実に向けて、今回得た学びを自校の実践にどう生かしていくかを考える機会となりました。



★ 受講者の声 ★

- ・学校教育目標の達成に向けて「チーム学校」で取り組むという考え方が、特に印象に残りました。コミュニティ・スクールが目指す方向の輪郭が見えてきたように感じます。
- ・委員選びや部会設置など具体的な話でとても勉強になりました。
- ・学校として「どこに向かっていくのか」を共有できれば、コミュニティ・スクールとしての目標や方向性がより明確になり、そこから生まれる様々なアイデアも同じ方向に向かって広がっていくのではないかと思います。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp